

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 妙徳
コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中森俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉田清輝

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日 配当支払開始予定日

TEL 03-3759-1491
平成24年8月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	1,089	△24.9	200	△36.8	204	△36.3	126	△32.4
23年12月期第2四半期	1,450	—	317	—	321	—	187	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 122百万円 (△36.6%) 23年12月期第2四半期 193百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	16.46	—
23年12月期第2四半期	23.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	3,704	3,117	83.9
23年12月期	3,667	3,032	82.5

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 3,108百万円 23年12月期 3,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年12月期	—	4.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	3.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,269	△13.5	404	△22.1	408	△22.6	225	△27.8	29.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期2Q	8,285,000 株	23年12月期	8,285,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	583,159 株	23年12月期	567,159 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	7,711,079 株	23年12月期2Q	7,946,837 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年8月29日(水)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要、自動車エコカー補助金などを背景に、緩やかな回復基調にありましたが、原油高や今夏の電力不足懸念、欧州を発端とする財政金融不安、中国をはじめとする新興国の成長鈍化による海外景気の下振れ懸念、円高の長期化、国内製造業の海外生産移転など経済の先行き不安を抱える依然として厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましては、自動車業界の生産回復による設備投資需要や設備稼働率向上によるメンテナンス需要の改善及びスマートフォン関連の製造設備業界や部品業界には明るさがみられましたが、パソコン、液晶テレビをはじめとするその他の電子・電気機器業界の低迷、太陽光パネル業界の設備過剰による新規投資の抑制などにより、当社グループの主要顧客業種である半導体製造装置業界、太陽光パネル製造装置業界などにおいて、厳しい状況が継続いたしました。

このような環境下、当社グループは、販売面では、海外子会社の販売体制強化を図り、アジア新興国を中心に拡販活動を継続いたしました。

生産面においては、海外からの材料調達比率の向上や購入部品の内製化、海外子会社での生産の拡大等により原価低減に引き続き取り組んでまいりました。

また、全部門が徹底した経費削減活動に継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,089,923千円（前年同期比75.1%）、連結経常利益は204,604千円（前年同期比63.7%）、連結四半期純利益は126,914千円（前年同期比67.6%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

自動車業界の生産回復による設備投資需要や設備稼働率向上によるメンテナンス需要の改善、台湾市場におけるスマートフォン関連部品製造装置需要の獲得などの取組を行いました。パソコン、液晶テレビをはじめとするその他の電子・電気機器業界の低迷、太陽光パネル業界の設備過剰による新規投資の抑制などにより、売上高は867,940千円（前年同期比73.2%）となりました。営業利益については163,320千円（前年同期比59.5%）となりました。

② 韓国

半導体製造装置業界の需要が戻りつつありますが、大型受注案件が第3四半期以降に持ち越されたことなどにより、売上高は117,924千円（前年同期比76.4%）となりました。営業利益については20,601千円（前年同期比80.3%）となりました。

③ その他

中国をはじめとする新興国の成長鈍化による海外景気の下振れ懸念がありましたが、売上高は104,059千円（前年同期比94.5%）となりました。営業利益については15,139千円（前年同期比79.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ128,554千円増加し、1,592,733千円となりました。これは主として、現金及び預金が99,301千円、受取手形及び売掛金が10,457千円、流動資産その他が19,531千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ92,023千円減少し、2,111,625千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ36,530千円増加し、3,704,359千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ30,675千円減少し、318,326千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が20,571千円、未払法人税等が56,216千円増加したのに対し、1年内返済予定の長期借入金が104,740千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ17,755千円減少し、268,667千円となりました。これは主として長期借入金が20,968千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ48,431千円減少し、586,994千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ84,961千円増加し、3,117,364千円となりました。これは主として利益剰余金が88,325千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は83.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ54,637千円増加し、456,532千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益199,465千円に加え、減価償却費88,935千円、仕入債務の増加額20,387千円等の増加要因に対し、役員賞与引当金の減少額14,315千円、売上債権の増加額10,238千円等の減少要因により301,887千円の資金収入(前年同期比81.0%)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出31,895千円、有形固定資産の取得による支出40,192千円等の減少要因により80,142千円の資金支出(前年同期比53.6%)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出125,708千円、配当金の支払38,739千円及び自己株式取得による支出3,076千円の減少要因により167,523千円の資金支出(前年同期比73.8%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、前回予想(2012年2月13日)から修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方式に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額に与える影響はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	414,225	513,526
受取手形及び売掛金	658,544	669,001
製品	145,782	138,388
仕掛品	94,430	96,295
原材料	102,517	105,472
繰延税金資産	19,368	21,451
その他	29,456	48,988
貸倒引当金	△144	△389
流動資産合計	1,464,179	1,592,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,287,474	1,222,237
減価償却累計額	△550,835	△502,935
建物及び構築物（純額）	736,638	719,302
機械装置及び運搬具	719,798	716,605
減価償却累計額	△439,604	△464,223
機械装置及び運搬具（純額）	280,193	252,382
土地	744,109	733,589
その他	404,707	435,501
減価償却累計額	△347,440	△364,084
その他（純額）	57,266	71,416
有形固定資産合計	1,818,209	1,776,690
無形固定資産	161,752	143,841
投資その他の資産		
投資有価証券	138,529	137,035
繰延税金資産	20,687	20,807
その他	64,469	33,250
投資その他の資産合計	223,687	191,093
固定資産合計	2,203,648	2,111,625
資産合計	3,667,828	3,704,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,290	70,862
1年内返済予定の長期借入金	144,724	39,984
未払法人税等	17,613	73,829
賞与引当金	22,976	32,465
役員賞与引当金	14,315	—
その他	99,082	101,184
流動負債合計	349,001	318,326
固定負債		
長期借入金	141,040	120,072
退職給付引当金	118,874	119,519
その他	26,508	29,076
固定負債合計	286,423	268,667
負債合計	635,425	586,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	945,766	945,766
利益剰余金	1,476,967	1,565,292
自己株式	△119,711	△122,787
株主資本合計	3,051,146	3,136,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,600	16,347
為替換算調整勘定	△46,499	△44,272
その他の包括利益累計額合計	△23,898	△27,924
新株予約権	5,154	8,892
純資産合計	3,032,402	3,117,364
負債純資産合計	3,667,828	3,704,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,450,528	1,089,923
売上原価	697,750	494,917
売上総利益	752,777	595,006
販売費及び一般管理費	435,305	394,404
営業利益	317,472	200,601
営業外収益		
受取利息	402	186
受取配当金	1,435	2,118
為替差益	900	1,500
受取地代家賃	2,401	2,871
受取保険金	234	22
助成金収入	2,500	—
その他	787	475
営業外収益合計	8,661	7,175
営業外費用		
支払利息	3,830	1,544
売上割引	504	102
機械設備等移設費	—	780
減価償却費	98	599
その他	606	145
営業外費用合計	5,040	3,171
経常利益	321,092	204,604
特別利益		
固定資産売却益	—	1,012
特別利益合計	—	1,012
特別損失		
固定資産売却損	—	6,023
固定資産除却損	1,426	128
災害による損失	21,076	—
特別損失合計	22,503	6,151
税金等調整前四半期純利益	298,589	199,465
法人税、住民税及び事業税	132,737	71,326
法人税等調整額	△21,986	1,223
法人税等合計	110,750	72,550
少数株主損益調整前四半期純利益	187,838	126,914
四半期純利益	187,838	126,914

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	187,838	126,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△543	△6,252
為替換算調整勘定	6,440	2,226
その他の包括利益合計	5,897	△4,025
四半期包括利益	193,736	122,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,736	122,889
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	298,589	199,465
減価償却費	83,486	88,935
固定資産除却損	1,426	128
固定資産売却損益(△は益)	—	5,010
災害損失	21,076	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	103	246
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,771	9,516
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,368	△14,315
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,234	572
受取利息及び受取配当金	△1,837	△2,304
支払利息	3,830	1,544
売上債権の増減額(△は増加)	78,153	△10,238
仕入債務の増減額(△は減少)	6,765	20,387
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,287	3,546
未払金の増減額(△は減少)	△16,103	1,226
その他	13,822	13,272
小計	508,399	316,995
利息及び配当金の受取額	1,837	2,304
利息の支払額	△3,953	△1,531
法人税等の支払額	△133,457	△15,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,826	301,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,134	△31,895
定期預金の払戻による収入	40,897	—
投資有価証券の取得による支出	△4,234	△8,285
有形固定資産の取得による支出	△101,890	△40,192
有形固定資産の売却による収入	—	1,399
無形固定資産の取得による支出	△74,087	△1,168
差入保証金の回収による収入	6,732	—
その他	104	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,612	△80,142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△171,848	△125,708
自己株式の取得による支出	△30,200	△3,076
配当金の支払額	△24,892	△38,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226,940	△167,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,900	415
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△825	54,637
現金及び現金同等物の期首残高	415,749	401,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	414,924	456,532

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	韓国	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,185,943	154,411	1,340,355	110,172	1,450,528	—	1,450,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	170,039	51,014	221,053	3,259	224,312	△224,312	—
計	1,355,982	205,425	1,561,408	113,432	1,674,840	△224,312	1,450,528
セグメント利益	274,618	25,663	300,281	19,151	319,433	△1,960	317,472

(注) 1 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「中国」「タイ」であります。

2 セグメント利益の調整額△1,960千円は、各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	韓国	計				
売上高							
外部顧客への売上高	867,940	117,924	985,864	104,059	1,089,923	—	1,089,923
セグメント間の内部売上高 又は振替高	122,646	47,121	169,768	5,508	175,276	△175,276	—
計	990,587	165,045	1,155,633	109,567	1,265,200	△175,276	1,089,923
セグメント利益	163,320	20,601	183,922	15,139	199,062	1,539	200,601

(注) 1 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「中国」「タイ」であります。

2 セグメント利益の調整額1,539千円は、各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。